

内視鏡検査時の鎮静剤注射使用についての説明と承諾書

1. 目的

当院では、内視鏡検査を行う際に苦痛や不安を少なくするため、ご希望の方に鎮静剤の注射を行っています。鎮静剤の効果は個人差が大きく、頭がぼーっとする程度の方もいれば完全に眠ってしまう方もいます。

2. 副作用・偶発性

●ふらつきや転倒

検査終了後、眠気が残り足元がふらつき転倒の恐れがあります。30分～1時間程度休んでからお帰りいただきます。

●呼吸抑制

鎮静剤によって呼吸が弱くなることがあります。血中酸素濃度を測定しながら十分注意して検査を行います。

●注意力低下、逆行性健忘

お酒に酔った時同様、注意力の低下や判断力が鈍くなったりします。また、薬が効いている間の記憶が残らず、検査中や検査直後のことを全く覚えていない方もいます。

●血圧低下、ショック

まれに血圧低下やショック状態、意識レベルの低下がもたらされることがあります。

3. 注意点

●鎮静剤を使用した場合、検査当日の自動車・バイク・車の運転はできません。

検査後に運転の予定がある方、鎮静剤をしようとした検査はできません。

●検査後に帰宅を急ぐ場合や、大切な予定・仕事がある場合は鎮静剤は使用できません。

鎮静剤使用に関する同意書

医療法人 AZ グループ 横浜エムエムクリニック院長殿

私は、上記の説明文を読み、鎮静剤使用に関する利点と危険性を十分に理解した上で、鎮静剤を使用した内視鏡検査を希望します。

年 月 日

患者氏名
